

第 39 回 五代十国時代と宋の成立

1 五代十国時代

- ・ 9 世紀後半、唐は、() によって大きく混乱していた。
→ 907 年、節度使の () によって滅ぼされた。
- ・ その後、宋の成立 (960 年) まで、華北には 5 つの王朝が成立し、地方にはかつての節度使や藩鎮などが、10 の地方政権をつくっていた。
→ そのためこの分裂時代を、() と呼んでいる。



朱全忠
元の名は朱温。黄巢を裏切って唐に仕えたため、この名になった。最後は息子に殺された。

☆ () (907~923 年)

都… () (汴州)

◆ () (在位 907~912 年)

- ・ 節度使の朱全忠が唐を滅ぼして建国した。
- ・ 黄河と大運河が交わり、交通の要所であった開封を都とした。



その後 () → () → () → () と王朝が交代した。

※後晋は、建国の際に () の援助を受けた。

→ 見返りとして長城以南の () を契丹に割譲した。



趙匡胤
辛抱強い性格で、武力で強引に物事をすすめることはなかったとされる。結構いい人だが、大酒飲みでもあった。

2 宋の成立

☆ () (960~1127 年)

都… ()

◆ () (在位 960~976 年)

- ・ 後周の節度使であった趙匡胤が、帝位をゆずらせて建国した。

< 趙匡胤の改革 >

- ・ () の最終試験として、皇帝自らが試験官を務める () を加えた。
→ 皇帝への忠誠を強めて、官僚中心の中央集権体制を築いた。
- ・ 五代十国時代は、軍隊や節度使が力を持ちすぎたため混乱した (武断政治)。
→ 節度使ではなく役人 (文人官僚) を地方に派遣して、軍の力を奪った。
※これを () という。
- ・ 開封の防衛のため、皇帝直属の親衛軍である禁軍を創設した。



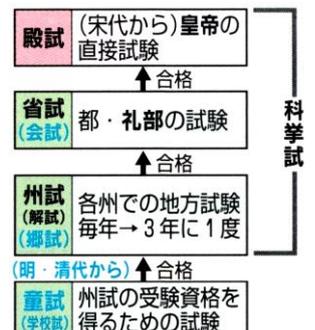
殿試の様子

ここまで来れば、基本的に落ちることはなかったらしいが、科挙の合格順位が決まるので、後の出世には大きく影響した。



科挙の合格発表

合格者の名前が書かれた場所に、受験者が集まっている。どこかで見たような風景です。ここに名前があれば、一生の栄華が約束された。





太宗

趙匡胤の息子がいるのに、弟が後を継いだことは、当時からブラックな噂になっていたらしい。王朝の2代目は、「太宗」が多い。

◆ () (在位 976~997 年)

・兄の後を継いで第2代皇帝となり、中国を統一して文治主義を確立した。

<宋代の支配層の変化>

- ・科挙合格者(進士)を出した家は、() と呼ばれた。
→官戸となったのは、() と呼ばれる地主が多かった。
※形勢戸は、() と呼ばれる小作人を使用していた。
- ・唐~五代の混乱で、それまでの支配層であった貴族がすっかり没落した。
→() と呼ばれる人たちが、宋の政治・文化の担い手となった。

3 宋代(北宋と南宋の時代)の社会と経済

・北宋の都である開封は黄河と大運河の合流地点にあり、交通と商業の中心地として大いに発展した。また南宋の成立以降は、江南地域の開発も進んだ。

- ・宋代には、ベトナムから() というひでりに強い新しい稲が伝わった。
→畝田と呼ばれる新田開発が行われ、長江下流域は大穀倉地帯となった。
→そのため「 」と言われた。
- ・茶・絹・陶磁器の生産も盛んとなり、() は各地に広まっていった。



茶畑



天目茶碗

茶を飲むことは、漢代からあった。宋代には国内だけでなく周辺の国々にも広がり、茶の専売も行われた。宋代に制作された茶器である天目茶碗は、日本の国宝である。

長 安		開 封	
坊の中の東西の市しか市場がない	市	都市の至る所に商店が設けられ、 大街に向かって店舗を張る	
日没後坊の門が閉まる 夜間外出・営業禁止	夜間	深夜営業の「夜市」が開店	
市の中に同業者街を形成し、「行」と呼んだ	同業組合	同業組合としての結束を図り、行(商人)や作(手工業者)が商業を独占した	

- ・産業が活発になると、城壁の外でも() と呼ばれる市場が発生した。
→そこから() と呼ばれる小都市に発展することもあった。
- ・商人たちの()、手工業者たちの() といった同業組合も生まれた。
- ・商業が盛んになると貨幣経済も浸透し、() が大量に鑄造された。
→さらに北宋では()、南宋では() という紙幣も発行された。
- ・外国との交易も盛んとなり、東南アジア諸国との南海交易が行われた。
- ・日本の平氏政権や鎌倉幕府とは() が行われ、九州の博多が栄えた。
→そのため()・()・() などには、貿易を司る役所である() が置かれた。



交子

交子は世界最初の紙幣である。四川地方で発行されたが、これは四川では銅の生産が低く、さらに外交的な理由もあって銅銭が使用できなかったためである。



銅銭(宋銭)

宋代は商工業が発展したため、それまでの王朝とは比べ物にならない量の銅銭が鑄造された。そのためあまり高くない(笑) 日本にも大量に輸出された。



平清盛

武士として初めて政権を握った人物。日宋貿易は平氏政権の強力な財源となった。日宋貿易で栄えた大輪田泊は日本史なら必須知識。